

2019年2月

第6回 日本手術看護学会 近畿地区大会の開催にあたって
「未来につなぐ周術期看護 ～知・技・心の伝承と発展～」

地区大会会長 藤本 陽子
(兵庫医科大学ささやま医療センター)

2019年6月29日(土)、近畿地区大会を古都、奈良の地で開催いたします。

本年の大会は 地区大会実行委員長 奈良ブロック 比澤万有美氏を中心に企画・運営され、「未来につなぐ周術期看護 ～知・技・心の伝承と発展～」をテーマに奈良春日野国際フォーラム 薨(旧 奈良県公会堂)で開催されます。

奈良は1300年以上前には、シルクロードの東の終着点と考えられ今回の会場周辺では1988年に「ならシルクロード博覧会」が開催されました。

その根拠は、正倉院には中国製やペルシア製の宝物が数多く残っており、法隆寺をはじめとする飛鳥時代の仏像には古代ギリシア文化のアルカイックスマイルを示すものが多いそうです。このように、東西の文化・芸術が交流し、そして日本固有の新しい文化を産み出した地で「知・技・心の伝承と発展」をサブテーマとしてこの地区大会が開催されることは意義深いものと思えます。

この大会会場周辺には大仏殿、春日大社を始め観光どころが多々ございます。また会場内の見事な庭園でも午前中ならば蓮の花が咲いている可能性が大ですので、少し息抜きをしながら、周術期看護を育む上で何が必要か、何をしなければいけないのか、是非、一緒に考えていきたいと存じます。

初夏の開催ではありますが皆さまとお会いできる日を楽しみにしております。

最後に、本地区大会の開催に当たり、企画・準備にご尽力いただいた奈良ブロックの会員各位、ご指導を賜った諸先生、協賛いただいた企業の皆様に厚く御礼を申し上げます。